



NEWS RELEASE

2020年10月18日

報道関係各位

CCCマーケティング株式会社
株式会社Tポイント・ジャパン

辻愛沙子「政治の話はカジュアルな場所でも、重くないトーンでも」

「学校総選挙プロジェクト」ローンチ説明会

～中高生から20代の若者世代と政治・社会をつなぐソーシャルプロジェクト～

カルチュア・コンビニエンス・クラブ (CCC) グループの CCC マーケティング株式会社 (本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：北村和彦) と株式会社 T ポイント・ジャパン (本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：長島弘明) は、これからの未来を担う中高生から 20 代の若者世代と政治・社会をつなぐソーシャルプロジェクト「学校総選挙プロジェクト」(<https://youthvote.tsite.jp/>) のローンチ説明会を、10月18日(日) 東京・渋谷にて実施いたしました。



「学校総選挙プロジェクト」は、CCCの創業意図「若者に新しい生活スタイルの情報を提供する拠点を提供していく」をアイデンティティに、これからの未来を担う若者が、これからの未来を生きていく糧となる新たな発見や考え方を共創していく「場」です。中高生から20代の若者世代が、政治や社会を自分ごと化する機会を創り、問いを設定して議論を深め、競争の激しい国際社会の中でも自分らしさを持ちながら、多様性を受け入れていくソーシャルプロジェクトを目指しています。

本件に関するお問い合わせ：

CCCマーケティング株式会社／株式会社Tポイント・ジャパン

広報担当：安藤

TEL：03-6800-4464



この度の記者説明会では、株式会社 arca CEO / クリエイティブディレクター 辻愛沙子さん、浦和大学社会学部准教授 林大介さん、そして高校 3 年生 小笠原萌さん (18 歳)、高校 3 年生 姫野美柚さん (17 歳) にご登壇いただきました。

イベント冒頭 CCC マーケティングの石井からは、「10～20 代の若者の社会参加の機会が少ないといわれる一方で、アンケート調査の結果では 10～20 代も 30 代以上と比較して政治への興味関心は遜色ないという事がわかっている。そんな若い世代の方々が、このプロジェクトを通して、社会課題に向き合い、意思表示して同世代と対話することで、社会へ発信していくことができればと思っています。T ポイントとしても、これまで多くの方にご利用いただいているお得・便利な“共通ポイント”として価値提供を続けてきましたが、それに加え本プロジェクトを通じて、若い世代と社会のつながりを生み出し、好きや親しみを感じてもらえればと思います。」と本プロジェクトの背景と目的について説明させていただきました。



■“若者の選挙離れ”とは言うけれど…

パネルディスカッションでは“若者の選挙離れ”をテーマにした話題からスタートしました。辻さんからは「コロナで社会と自分の生活が密着していることに気が付いている方が多い中、政治や選挙への関心が、世代関係なく、上がってくるのではないかなと思っています。“若者の選挙離れ”というよりも、みんなやり方がわからない、声のあげ方がわからないという部分が多いと思います。それは『政治に対して意識がない』かというわけではないので、そのギャップをこれから埋められればと思います。」とコメントいただきました。

その中で自身が企画された、2019 年 7 月の参院選の“投票したらタピオカが半額になる”「Tapista × 選挙へ行こう！キャンペーン」について質問が飛ぶと、辻さんは「『Tapista』の立ち上げのクリエイティブを担当していた際に、若い人たちに何を提供すべきなのかを真面目に考え、若いお客さんにも支持していただきました。週刊誌などでは『タピオカに並ぶ子は何も考えていない！』といった論調がありましたが、お店の若いお客さんを見ていた経験からそんな報道に対して疑問がありました。当事者としても、若者としても『若者はけしからん』というレッテルを貼られることに対して、挑戦の気持ちもありました。若いお客さんたちも『社会のことや自分の未来のことを考えている』という仮説のもと、“投票したらタピオカが半額になる”キ



本件に関するお問い合わせ：

CCCマーケティング株式会社 / 株式会社Tポイント・ジャパン

広報担当：安藤

TEL：03-6800-4464



学校総選挙 プロジェクト

キャンペーンをスモールスタートで始めたのですが、それがすごく話題となり、1日だけでも3,000人以上の利用がありました。渋谷でギャルたちが『投票どうだった?』という話をしながら列をなしているのが印象的でした。若い人が選挙に行かないという問題の中には、大人がそのきっかけを作れていないという責任もあると思います。」と当時の想いを述懐されました。

そんな若者の政治や選挙参加について、林さんは「若者たちが『政治や社会に対して関わり合いがない』と思っていたところをどれだけ意識できるのかが重要だと思います。今生きている社会と政治は切っても切り離せない関係にある。当事者である自分たちが発信することや考えることに対して、ゆるやかに、ふわりとでも、始められる場を作りだすことがとても重要だと思います。」とお話されました。

■“政治の話をする”空気感をもっとカジュアルに



一方で現役の高校生である小笠原さん、姫野さんからは「友達同士ではなかなか政治の話はしない…」
「くだらないこと話すのがメインなので、“真面目”と思われそうで踏み込みにくい」といった声が上がりました。

そんな声に辻さんからは、「kemioさんは、社会の話やセクシャリティの話も、最近足を運んだカフェの話や料理の失敗談などを同じテンションで話されますよね。政治だから社会だから真面目じゃないといけない、知識のマウント合戦になる、ではなく『放課後どうする?』くらいの空気感をつくれればいいですね。もちろん私自身も分からないこともありますので、その都度調べて立ち返りながら発信をしています。政治や社会課題を真面目なトーンで話さなければいけないという今の空気感ではなく、全部わかってなくてもいいし、話す場所もカジュアルな場所でもいい、声のトーンも重くならなくていい。クラスのなかでも真面目な子だけが話すのではなく、ポップな子も一緒に会話する事がすごく大事なのではないかなと思いますね。」とアドバイスをいただきました。

本件に関するお問い合わせ：

CCCマーケティング株式会社／株式会社Tポイント・ジャパン

広報担当：安藤

TEL：03-6800-4464



学校総選挙 プロジェクト

また今年の都知事選で初めて選挙に行った小笠原さんは「初めて投票に行ったときはド緊張でそわそわしていました（笑）。両親と3人でいったのですが、両親はあっという間に投票を終えて、どこに行ったらいいの？ 投票用紙は折って入れたらいいの？ と挙動不審になりながら大変だったなという思いがありました。」と初めての投票を振り返りました。

林さんからは「投票用紙は折らなくても勝手に開くので、どちらでも大丈夫です（笑）。ちなみに幼少期に親の投票について行った人の方が、大人になった時の投票率が高いという全国調査のデータがあります。投票に行くという事は、大人になるということに加え、政治や選挙に対する意識づけがされていく。親子で一緒に投票所に行くというのはとてもいいことだと思います。」とお話されました。



■今後取り上げて欲しいテーマは…？



また最後に、今後本プロジェクトで取り扱ってほしいテーマに話題が移ると、辻さんからは「女性の政治参画」があげられました。「選択的夫婦別姓に関してもぜひ取り上げていただきたいのですが、すでに予定しているという事だったので、女性の政治参画も取り扱っていただきたいです。日本のジェンダーギャップ指数は先進国の中でもかなり低く、政治・経済でのジェンダーギャップがかなり足を引っ張っている状況です。現内閣も女性は2人。衆議院は10%、参議院は20%しかおらず。これがクラスなら女子が1割ってすごく少ないと思いますよね？ 国民でも男女は半分半分なので、これからの社会を作る一員としても、自分たちの声が伝わる政治家さんが増えて欲しいなという思いがあり、投票ももちろんですし、出馬する権利という面でも、政治に興味を持つ女性がさらに増えるといいなと思いました。」とコメントされました。

さらに、小笠原さんからは「キャッシュレス化」が挙げられ、「先日ニュースなどでも報じられていた本件に関するお問い合わせ：

CCCマーケティング株式会社／株式会社Tポイント・ジャパン

広報担当：安藤

TEL：03-6800-4464



マイナポイントでしたが、学校でマイナポイントの話をしている人はほとんどいません。日本でもキャッシュレス化が進む中、実際私たちの世代はどれくらいの人が賛成、反対しているのか？ その想いはどうなのか？ という事が気になりました。」と身近な関心についてお話をいただきました。

一方、姫野さんからは「年金」が挙げられ、「私たちの世代は年金がなくなってしまうという話をよく聞きます。老後は2,000万円を貯めなければいけないとも…。今までは年金を支払っても老後に支払われるものだったのに、なぜ私たちの代からその仕組みが回らなくなってしまったのか？ 本当に年金を支払った方がいいのか？ みんながどう思っているのか聞きたいなと思いました。」と、将来の不安について等身大の意見が寄せられました。



CCCマーケティングおよびTポイント・ジャパンは、「学校総選挙」を通じて、若者が社会課題に主体的に関わり、判断し、実行をしていく「グローバル・シチズンシップ」を育み、SDGsの目標4「すべての人々への、包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」の達成につながっていくよう、そして、「T」が「人と社会をつなぐ」存在となることを目指し、引き続き、新たな社会価値創造に取り組んでまいります。

【「学校総選挙プロジェクト」概要】

■プロジェクト名：学校総選挙プロジェクト

■プロジェクトサイト：<https://youthvote.tsite.jp/>

■プロジェクト開始日：2020年10月13日 ※SNSは2020年6月より開始

■プロジェクト内容：中高生から20代の若者世代に向けて、政治や社会課題から進学、学校など幅広い領域から、これからの若者世代に関わる課題をテーマアップし、その問題提起した課題についての中立的な情報と同世代が対話を深める場を提供します。WEBサイトで実際に「投票」することで、中高生世代の一人一人が主体的に関わり、意思表示できる機会を作ります。そして、中高生の「声」をまとめた投票結果のレポート記事や、有識者へのインタビュー記事などをnote上で掲載したり、オピニオンリーダーを迎えての企画や対話の場なども提供をしていく予定です。

■Twitterアカウント：学校総選挙プロジェクト【公式】 https://twitter.com/T_gakkou

■noteアカウント：学校総選挙プロジェクト【公式】 https://note.com/t_gakkou

本件に関するお問い合わせ：

CCCマーケティング株式会社／株式会社Tポイント・ジャパン

広報担当：安藤

TEL：03-6800-4464